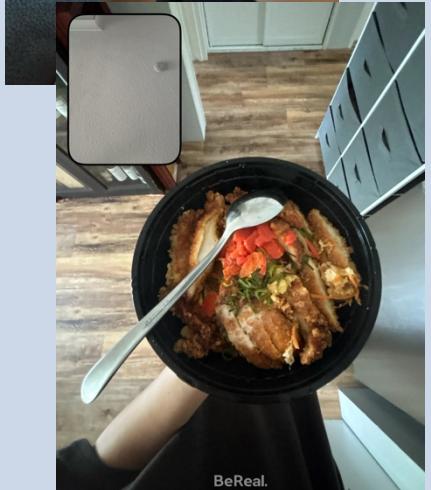
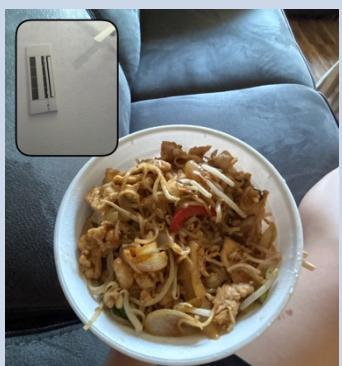
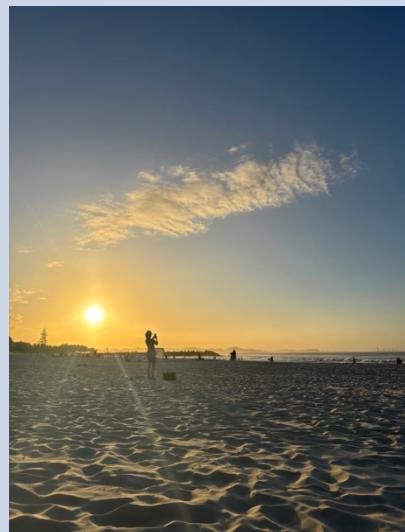
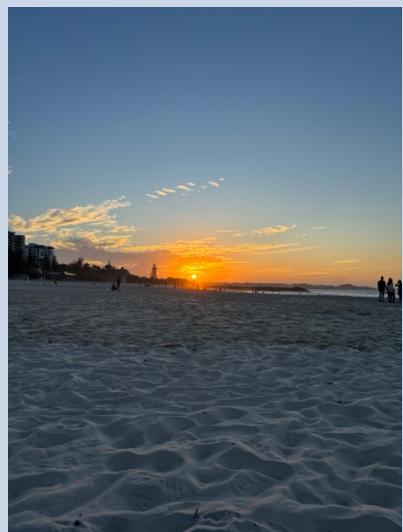


サザンクロス大学への協定校留学 May.

国際文化学科 3年

私は留学中の目標の一つとして、「アルバイトをする」という目標があります。オーストラリアの学生ビザは2週間に48時間のアルバイトが許可されています。実は、3月のサイクロン（台風）で何もすることがない中、レジュメ（履歴書）作成に取り組んでいました。サイクロン後、レジュメ配りを始めました。オーストラリアでは、仕事やアルバイトを探す際、自ら働きたいお店に自作のレジュメを持っていき、自己アピールをします。たくさんの緊張や心配の感情を抱きながら、私は約30軒のお店にレジュメを渡しにいきました。配った30軒のうち1軒から電話が返ってきた時はとても嬉しかったです。そこは、「Pan Asia」というアジア料理店でした。中国人のオーナーと多国籍の従業員が働いている飲食店でした。私は、3月からこのアジア料理店でPart-timeとしてアルバイトをして、たくさんの困難を体験しました。まずは、英語力の低さを実感させられました。ゴールドコーストは、様々な国から移住した方が多く、同じ英語でもとても訛りのある英語を話したり、聞いたことのない難しい表現の仕方をしたりするため、注文を取ることがとても大変だと感じました。Pan Asiaで働き始めて2ヶ月が経ち、以前より注文を聞き取れるようにはなりましたが、まだまだだと感じることの方が多いです。オーストラリアの方の多くは、食べ物にこだわりが強く、グルテンフリー、ベジタリアン、好き嫌いなど、一つの料理にたくさんの要望を伝えてきます。料理を聞き取ることも難しい中、特別な注文も聞き取らなければならないのはとても大変です。また、オーナーとのコミュニケーションの難しさも実感しています。学業との両立をしたいと伝えたくてもうまく伝わらず、大学のある日にシフトが組まれていたこともあります。このように、日本では当たり前のようにできていた会話もお互いが第二言語ということもあります。出勤後にはとても量の多い賄いを作ってくれます。一品で、3食分に分けられるほどの量です。私は、この賄いのおかげで、2週間スーパーへ行っていません。大変なこともあります。その分たくさん学び、たくさんのものを得られていると感じています。





4月下旬から5月の2週目までの3週間、Easter Holiday や Labor Day、学期の移り変わりが重なり大学がない日々を過ごしました。この3週間はほぼ毎日ビーチへ行き朝日や夕陽を見たり、慣れてきたアルバイトをしたり、とても充実した長期休みを過ごすことができました。5月の2週目からは大学の授業も始まり、忙しい日々に戻りました。Term 2に入り、履修授業も変わり、たくさんの緊張の中初日を迎ましたが、クラスメイトはとても優しく、全く話し合いに参加することができなかった私に、丁寧に説明し、意見を聞いてくれました。このクラスで6週間授業を受けることがとても楽しみです。

大学の友達と一緒にランチを食べに行ったり、シェアメイトたちとディナーを食べたり、とても充実した1ヶ月を過ごすことができました。来月はオーストラリアに来て初めての国内旅行について話したいと思います！

